

特定非営利活動法人 貴船



1 活動拠点 (元 県土木の施設を借用)

障がい者の 自立共育・共生社会の実現

貴船ハウスのあゆみ

1982（昭和57）年4月、たかた家族会が結成された。当事者家族たちが月に1日集まり可部保健所の応援のもと、精神に障がいのある人が、自宅でひきこもり生活から地域社会に一步飛び出してみようと、更には障がいの理解を目的に活動をしていた。その後、吉田町保健センターを利用して、ソーシャルクラブ活動を展開し、活花や書道、手芸などをしてきた。

これが貴船ハウスの前身となる。平成2年4月、広島県可部保健所の保健師さんや旧吉田町役場保健師さんのそして、高田家族会の応援と当事者の家族の強い思いから貴船ハウスは誕生しました。出発時点は、無認可の福祉施設で通所されるメンバーさんも4名か5名で週3日の活動を開始。施設内では、毎日、習字を習ったり小物を作ったりの創作活動中心から、少しでもお金を儲けて自分達の生活の糧にと自動車産業の下請けの内職を受注し生産活動へと移行していきました。平成18年3月障害者自立支援法の施行により、運営基盤の弱い無認可施設から特定非営利活動法人施設への移行に取り組み、準備委員会を発足。同年10月法人化を取得した。現在、地域活動支援センターⅢ型事業を展開し、知的障がい者・精神障がい者・身体障がい者の3障がいの方を受け入れ、登録メンバーさんも21名、毎日15名～16名の方が通所利用されている（写真1）。



4 さつも芋堀で吉田小学校児童との交流始まる



2 炭やき工房での竹割作業



5 収穫した芋を積み上げ喜ぶ児童



3 工房前の広場にて（ヒラタケの植付作業）

受身の作業から生み出す 作業への展開

これまでの作業所内での仕事と言えば、自動車部品の組立作業や風呂蓋のテープ貼りの作業などの内職が中心で、作業工賃も1時間あたり100円余りととても安い状況であった。そして、平成20年の金融危機の影響により自動車産業の不況が障がい者の働く場にも大きく影響し、生産調整により仕事が全くない状況になり、毎日々クリエーションをして過ごす日々が続いた。ちょうどその頃、窯を営むまちづくり団体「炭焼きおやじの会」との出会いがあり、会のメンバーさんと一緒に、切り出された竹材を斧で割ったり、窯入れや窯出しの作業に取り組んだ。作業工賃は、時間あたり300円と大幅にアップした（写真2）。

さらに、安芸高田市で農業法人を経営されている農家と契約し、草取や野菜の種植付けなども受注している。当施設ではこれまで自主製品が全くなく、作業による工賃に頼っていたが、福祉事業に関心の高い福岡のある団体から「うこん製品を植付けから加工・販売

障がい者施設への 地域住民の理解と協働を

まで一緒にやろう」と協力の申出があり共に取り組み、今では「ウコン瓶」「ウコンカプセル」の商品化に結びつけている。国土交通省とも協働し、河川改修の際に出た木廃材を利用しヒラタケやナメタケを栽培し出荷している（写真3）。これらの取り組みは、不況がもたらした負の状況から施設にとって画期的展開。このことは、すべて受身の作業から自分達で生み出す作業へと大きく前進していった。

施設とすぐ近くにある吉田小学校の生徒との交流はこれまで全くなかったが、当施設が契約し借地している畑でさつも芋の植付をして、出前も掘りをきっかけに对话が生まれ、生徒も農業体験ができて喜んでい（写真4・5）。また、一般的に障がい者施設に対する地域住民の理解がなかなか得られない実情があるが、毎月第2土曜日を「いきいきサタデー」と題して施設を開放し町内の清掃活動を展開することで、地域住民から「一緒にやろう」と温かい声がかかる



8 収穫は11月下旬~12月上旬にされる



6 ポカシ肥をたっぷり入れ植付られるウコン



9 ウコンの分別及び洗浄作業



7 鹿の侵入防止網に守られ成長中のウコン



11 出来上がったカプセル入りウコン



10 出来上がったピン詰ウコン粉

ようになった。地域と共に生きる社会づくりが地域の人たちにも少しずつ伝わり、実を結んでいる。

利用者の生活基盤確保に向けて夢と展望の持てる施設に

施設の利用者の生活基盤が不安定なため、とても夢や展望を描く状況にはない。ウコン製品の取り組みが4年目を迎えている。ウコンの植付から加工までメンバーさん自身の力でできるまでになった

(写真6・7・8・9)。現在、インターネットによる販売、産直市での販売など販路の拡大を図っているが、貴船ハウスの自主製品であるウコン製品が軌道にのるかからないかが大きなカギとなる(写真10・11)。このことは、メンバーさんたちの工賃アップに確実に繋がっていくと確信する。これからも、知恵とアイデアをフルに活用しメンバーさん一人ひとりが夢と展望が持て、安心して通所できる施設づくりに邁進していきたい。

(新田 記)

特定非営利活動法人
貴船(きふね)

理事長 川森 泰彦
施設長 新田 義昭

住所 〒731-0501 広島県安芸高田市吉田町吉田1781番地
電話 0826-42-2967 FAX 0826-42-2967
発足 1990(平成2)年4月1日
設立登記年月日 2006(平成18)年7月28日
主な活動分野 保健、医療または福祉の増進